

2013年度
(平成25年度)

事業計画書

目次

事業計画構想	1
主要事業日程	2
事業計画内容	3

公益社団法人 日本コネスコ協会連盟

2013年度 日本ユネスコ協会連盟 事業計画構想

東日本大震災から2年が経過しました。被災地の学校生活は徐々に日常を取り戻しつつあります。しかし、子どもたちを取り巻く家庭環境、学習環境はいまだに大変厳しい状況にあります。あまつさえ、年月の経過とともに震災の記憶の急速な風化が危惧されております。私たちはこれからも引き続き、痛ましい被災の現実を見据えながら、被災地に対する教育文化支援を続けてまいりましょう。

目を世界に転ずると、国境を越えた大気や海洋の汚染、貧富の格差社会の矛盾、地球規模の異常現象など深刻さを増しています。こうした現実には人間社会の諸活動の結果であり、日々の生活と密接に関係しているのです。地球社会を不安に満ちた現実から希望のある未来へと転換していくために、何よりもまず人々の価値観や社会の在り方を問い直す必要に迫られています。このことはまさに UNESCO が現在進めている持続発展教育（ESD）が目的としているものであり、私たちは、各地のユネスコスクールや市民団体、行政との連携を図りながら、長期にわたって解決を図るべく、地域を総合的にとらえ、その中で価値あるユネスコ活動を展開しようではありませんか。

昨年度は、将来にむけて事業の見直しや財務の改善を続けることとし、「民間ユネスコ運動の今後の発展に向けて」を構想し、その中で「経営改善三カ年計画」を作成しました。2013年度の事業計画及び収支予算の策定にあたっては、今期2年目となる3カ年計画の着実な推進に向けて、ワーキンググループが精力的に検討してきた優先課題と関連付けながら、経営の安定と事業の発展に努めていきます。

事業内容としては、来たる2014年に日本で開催される「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年大会を将来活動へのバネとして、地域の文化・自然への理解を深める未来遺産運動、国際理解を深める活動、世界遺産活動、世界寺子屋運動のほか、ユネスコ ESD パスポート事業の新規展開など強力に推進して行きます。さらには、青少年活動の新規支援、ユネスコ協会の創立、活動財源の新規開拓など、全国のユネスコ協会の皆さまとともに幅広く展開してまいります。

会員の皆さま、持続可能な社会の構築を目指した民間ユネスコ運動の推進について、これからも共に議論を進め、実践を積み重ねてまいりましょう。

2013年度日本ユネスコ協会連盟主要事業日程

2013年

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 5月25日(土) | 第488回理事会、第30回評議員会、理事・評議員情報交換会 |
| 6月22日(土) | 第489回理事会、第64回定時総会、第490回理事会 |
| 6月29-30日(土・日) | 第1回「守ろう地球のたからもの」育樹活動(青森県) |
| 7月13-14日(土・日) | 第2回「守ろう地球のたからもの」育樹活動(青森県) |
| 7月~8月 | 「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」キャンペーン |
| 7月19日(金) | 「民間ユネスコ運動の日」 |
| 8月8-11日(木-日) | 第45回ユネスコ子どもキャンプ in 東京 |
| 9月14-15日(土・日) | 第491回理事会、第69回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京 |
| 10月5-6日(土・日) | 東北ブロック・ユネスコ活動研究会(新潟県新潟市) |
| 10月5-6日(土・日) | 関東ブロック・ユネスコ活動研究会(埼玉県越谷市) |
| 10月19-20日(土・日) | 北海道ブロック・ユネスコ活動研究会(北海道帯広市) |
| 10月26-27日(土・日) | 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会(石川県金沢市) |
| 11月9日(土) | 第492回理事会 |
| 11月16日(土) | 四国ブロック・ユネスコ活動研究会(香川県多度津町) |
| 11月23日(土) | 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会(大阪府大阪市) |

2014年

- | | |
|-------------|---|
| 1月18日(土) | 第493回理事会、第31回評議員会、理事・評議員情報交換会、
新年懇親会 |
| 2月 | 中国ブロック・ユネスコ活動研究会(広島県広島市) |
| 3月8-9日(土・日) | 中部東ブロック・ユネスコ活動研究会(神奈川県鎌倉市) |
| 3月15日(土) | 第494回理事会 |
| 未定 | 九州ブロック・ユネスコ活動研究会(未定) |

2013年度事業計画内容

1. 国内における平和構築活動

(1) 普及実践活動

持続可能な社会づくりを目指すユネスコ活動を全国に普及するために、「民間ユネスコ運動の日（7月19日）」のイベントや「平和の鐘を鳴らそう！」を始め、以下の活動を行う。

第69回日本ユネスコ運動全国大会 in 東京

日程 2013年9月14～15日(土・日)

会場 めぐるパーシモンホール（東京都目黒区）

主催 日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会、(特活)目黒ユネスコ協会

共催 目黒区、目黒区教育委員会、(財)目黒区芸術文化振興財団

後援 外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国際連合広報センター、他

テーマ 東日本大震災から2年半を過ぎて

『ユネスコ活動が発信する未来に向けたメッセージ』(仮)

ブロック別ユネスコ活動研究会

ユネスコ活動の使命にそった地域活動についての相互研修を通して、持続可能な社会へ向けての研鑽を深める。全国9ブロック9か所で開催。

期間 2013年10月～2014年3月

場所 全国9ブロック9か所

主催 日本ユネスコ協会連盟、都道府県ユネスコ連絡協議会、主管ユネスコ協会

(2) 青少年活動

子どもたちや青年のユネスコ活動を支援(応援)する以下の活動を行う。

教育復興支援 (子ども募金 東日本大震災子ども支援募金)

東日本大震災の津波により被害を受けた地域を対象に教育の分野に特化した以下の支援を行う。活動内容は、ホームページをはじめ、協会連盟の媒体物で逐次報告する。

A) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災により、経済的に就学が著しく困難となった家庭の小・中学生を対象に3年間の就学支援奨学金事業を行う。

B) MUFG -ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金

三菱東京UFJフィナンシャル・グループの協力により、東日本大震災で遺児孤児となった子どもたちへの「奨学金プログラム」、奨学生との交流等の「心豊かな成長プログラム」などを行う。

C) 力士会による支援

力士会（会長・横綱白鵬関）のご協力により、相撲場を新築する。

D) マッチング募金

企業、団体からのご協力により、個別の支援を行う。

青少年活動支援（子ども募金）

A) 「ユネスコ・ESD・パスポート」プロジェクト

子どもたちが世界や地域社会の課題に目をむけ、自らの問題として捉え、考え、自発的に行動することを目的に、「ユネスコ・ESD・パスポート」プロジェクトを開始する。「ユネスコ・ESD・パスポート」プロジェクトでは、参加促進のツールとしてパスポートを発行し、ユネスコ協会や地域の団体が主催するボランティア活動に参加後、その証として、シールを貼り、参加回数に応じて証明書を発行し、ボランティア体験発表会等で顕彰する。ユネスコスクールとユネスコ協会の連携強化を目的とし、2013年度はパイロット期として都道府県ユネスコ連絡協議会と連携し、プロジェクトを実施できるユネスコ協会を中心に実施する。

B) 青少年ユネスコ活動助成

ユネスコ精神を次世代へ引き継ぐ活動を、構成団体会員からの公募により助成する。

助成対象分野

1. 第45回ユネスコ子どもキャンプ in 東京
(主催：日本ユネスコ協会連盟、東京都ユネスコ連絡協議会)
2. 「わたしの町のたからもの」絵画展事業
3. ユネスコ協会に所属する青年が主体となっていく、社会的課題の解決に資する事業
4. ユネスコスクールや学校内ユネスコ活動と地域ユネスコ協会の連携強化に資する事業

C) 青少年活動支援のための事業実施

資金確保を条件に、青少年を東日本大震災の被災地に派遣する事業等を通じ、気づきとボランティア活動の機会を提供し、人材育成に資する事業を実施する。

D) ユネスコ寺子屋プロジェクト

小・中・高等学校を対象に世界寺子屋運動を題材としたプロジェクト型学習の普及を図る。児童・生徒が非識字という世界的課題を学び、書きそんじハガキ回収による募金協力を呼びかけるリーフレットを制作する。プロジェクトを通じて公正な社会の実現と教育の大切さを学ぶ機会を提供する。

「守ろう地球のたからもの」(通年)

国連「持続可能な開発のための教育の10年(UNDESD)」の理念に基づき、三菱UFJフィナンシャル・グループと次の事業を行う。

協力 三菱UFJフィナンシャル・グループ

- A) ESD教材「豊かな自然編」「豊かな世界遺産編」の学校への寄贈によるESDの推進
- B) 世界遺産「白神山地」周辺地域への植樹ボランティアによる環境保護活動
- C) みどりの絵コンクールによる環境意識の啓発
- D) 三菱東京UFJ銀行と協同で、ユネスコスクール新規登録校へのプレート寄贈、ユネスコスクール登録校高校生対象「ESD国際交流事業」、ESD活動を助成する「ESDアシストプロジェクト」の実施

三菱アジア子ども絵日記フェスタの共催(通年)

アジアの非識字問題解決への意識啓発活動として、1990年の国際識字年以来、三菱広報委員会と協同して、アジア24の国・地域の子どもたちが描く絵日記コンテストを実施。夏には各国・地域グランプリ受賞者を兵庫県神戸市に招聘し、国際表彰式を行う。

対象 日本を含むアジア24の国・地域

主催 三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)、
日本ユネスコ協会連盟

MSDサイエンススクール

命と健康の大切さを学ぶ機会としてMSD株式会社と協同して、ユネスコスクールを中心にサイエンススクールの出前事業を実施。

スタディツアー

H.I.S.の協力により、青年を対象に世界寺子屋運動で支援するカンボジアの村を訪問し、非識字という世界的課題や世界遺産について学ぶとともに、交流を通して学びの機会を提供する。

(3) 組織の拡充

民間ユネスコ運動の基礎である各地ユネスコ協会の活動を強化し、組織の拡大・充実を図るために全国規模で以下のユネスコ活動の普及促進活動を行う。

ユネスコ活動を実践する新しい会員の拡大

新しいユネスコ協会の設立

青年研修への講師派遣

青年による活動の振興など、ユネスコ活動の普及を促進する

地域のユネスコ協会に定期的に情報を発信し、情報の共有を図る

理事・評議員情報交換会を新たに開始し、ブロック内の情報共有の強化を図る

(4) 世界遺産・地域遺産活動

100年後の子どもたちに地域の文化・自然遺産を継承することを可能にする活動を全国的に展開する。

未来遺産運動（通年）

地域の文化・自然の継承、保護のために活動する市民団体のプロジェクトを全国公募し、専門家・企業人等からなる未来遺産委員会により1年に10件の「プロジェクト未来遺産」を選考し、登録する。応援金を贈呈するとともに、広報などについて協力、支援を行う。

また、児童・生徒の郷土愛を育むことを目的として「私のまちのたからものコンテスト」（スライドショー）を実施する。デジタル写真にナレーションや音楽をつけたスライドショー作品を全国の小・中・高等学校から募集する。

東日本大震災により被災した伝統文化や祭りなどを復興するために支援を行う。

植樹プロジェクト（青森県）

世界遺産「白神山地」周辺地域での植樹活動を通して、環境保全意識を啓発する。

(5) 海外との連携

海外のユネスコクラブとの連携を深め、活動の更なる発展と強化のために以下の活動を行う。

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興（通年）

AFUCAの諸会議の開催、及び域内ユネスコ協会・クラブ活動の振興に協力する。

世界ユネスコ協会クラブ連盟（WFUCA）への協力（通年）

UNESCOとの協定に基づく事業連携

UNESCO芸術賞基金の管理・運営

(6) 普及広報活動

持続可能な社会の構築を目指した民間ユネスコ活動の理解者、協力者を増やすために以下の広報活動を行う。

機関誌「ユネスコ」の発行

季刊/年4回発行。現行の16ページから8ページに変更。

日本ユネスコ協会連盟概要ブックレットの制作・配布

日本ユネスコ協会連盟ホームページの更新・管理・運営

民間ユネスコ活動に関する「活動ニュース」、「スタッフブログ」、「会員ページ」、「トピックス」など最新情報を充実し、適宜更新していく。

メールマガジン、リリース等による情報発信

機関誌・ホームページ等に掲載した情報、メールマガジンで配信すると共に、より多くの賛同・協力者を募るため、マスコミに対してリリースを配信する。

広報特使との協働

東儀秀樹（日本ユネスコ協会連盟スペシャルアドバイザー）、久保純子広報特使（まなびゲーター）、わさお（世界遺産活動特別大使犬）、UNESCOから任命されている二村英仁（UNESCOアーティストフォオピース）、横綱白鵬関（UNESCOスポーツチャンピオン）など各氏のご協力を得て、ユネスコ運動への支援を仰ぐ。

広報媒体の制作と活用

日本ユネスコ協会連盟との共催・後援事業の申入承認

他団体（省庁・役所・学校含む）や企業からの共催・後援申請への承諾を行う。

2. 海外における平和構築活動

(1) 世界寺子屋支援活動（通年）

“すべての人に教育を（EFA）”の目標達成のため、誰もが基本的人権としての基礎教育を受けられ、持続可能な地域の発展と平和な社会づくりに参画できる世界を目指し、開発途上国において教育機会を得られない人びとに対して、世界寺子屋運動を通じた教育支援活動を行う。また、世界寺子屋運動広報特使「まなびゲーター」久保純子さんや各種企業のご協力を得て、国内での書きそんじハガキ回収や募金者を拡大するための広報活動をこれまで以上に積極的に行う。

アジア3ヵ国での事業実施

A) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シエムリアップ州教育局と連携し、州内の村で子ども、成人を対象とした識字教育、技術訓練及び収入向上プログラムを実施する。

B) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

アフガニスタン教育省識字局と連携し、カブール県、パルワン県、バーミヤン県において、識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

C) ネパール（ルンビニ寺子屋プロジェクト）

世界遺産「ルンビニ」周辺の12村とカトマンズ近郊の4村で識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

世界寺子屋運動促進活動

A) NHK日本賞

世界の教育番組の向上を図ること目的とした教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」（主催：NHK）の企画部門で「識字・自国の言語教育を促し、基礎教育の普及に貢献する優れた番組企画」に対し、特別賞「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与する。

B) 世界寺子屋運動促進活動

世界寺子屋運動の新たな展開に向けての企画、調査を進めると共に、運動への協力者を増強するための広報活動を実施する。

(2) 「一杯のスプーン」支援活動（通年）

世界寺子屋運動の支援先と連携し、貧しい人々への無償医療活動を支援する。

アジア2カ国での事業実施

A) ネパール

世界寺子屋運動の支援地ルンビニでの巡回医療支援と栄養補助食品の配布。

B) アフガニスタン

カブール市内で医療活動への支援を行う。またカブール市内の世界寺子屋運動実施地域との連携を探る。

一杯のスプーン促進活動

医療支援や子どもへの栄養補助食品などに関連する企業・団体へのアプローチ・広報活動を実施する。

(3) 世界遺産・地域遺産活動（通年）

世界遺産、地域遺産を通して、国際理解を深め、自然や文化の多様性を広く一般に伝えるために以下の活動を行う。

カンボジア等での事業実施

カンボジアの世界遺産「アンコール」にあるバイヨン寺院「シンハ像・ナーガ像」修復プロジェクト、先祖から引き継がれてきた「世界のたからもの」を継承するための活動を実施する。

世界遺産・地域遺産促進活動

世界遺産活動の新たな展開に向けての企画、調査を進めると共に、活動への協力者を増強するための広報活動を実施する。

3. 財務体質の強化

ユネスコ活動を発展させていくために、青少年を対象としたボランティア学習旅行のための寄附をユネスコ協会会員に呼びかけるほか、事業資金（募金、寄附金、協賛金）の拡大を目指し、以下の活動を行う。

(1) 募金促進

「月1いいことプログラム」拡大キャンペーン

事業資金となる募金・寄付金を継続的に集める「月1いいことプログラム」（毎月引落募金）に協力者を増やすことを目指し、拡大キャンペーンを実施する。

書きそんじハガキ回収キャンペーン

世界寺子屋運動の事業資金となる同キャンペーンを2013年12月～2014年3月にかけて実施する。特に、各地のユネスコ協会との連携を深め、ユネスコスクールへの働きかけを強化する。

募金者への報告と継続依頼物の制作・発送

募金者の方々に支援していただいた事業の報告、支援者からのメッセージを伝え、継続的な支援を働きかける。

「活動報告レポート」の制作・発送

募金により実施した事業の成果を募金者に報告するために「2012年度活動報告レポート」を制作・配布する。

(2) 企業寄附企画の実施

ユネスコ活動に対して企業が寄附できる仕組みを企画立案し、企業との協働により実施する。

(3) 民間ユネスコ運動の発展のための連携強化

昨年構想した「民間ユネスコ運動の今後の発展に向けて」および、財務体質改善の中核をなす「経営改善三ヵ年計画」に則り、2013年度の事業を粛々と実施する。